

2020年

# 安倍暴走政治を終わらせ野党連合政権で 新しい希望ある政治を

今年是被爆 75 年の節目。すべての被爆者が「生きてよかった」と思える社会、戦争も核兵器もない世界の実現へ、大きな前進の一年にどうしてもしなければなりません。

4月にはニューヨークで初めて開催される原水爆禁止世界大会に日本代表団の一員として参加します。被爆者に背を向ける核保有国と日本政府の姿勢を変えるために全力をつくします。

議席を失って2年。中国地方の隅々へと足を運び、被災者、長時間労働やハラスメント、差別に苦しむ人たち…懸命に生きぬくたくさんの方と出会ってきました。各地の「子ども食堂」に伺い、子どもたちのほじける笑顔や笑い声とともに、食事も生活リズムもままならずうつむく子どもたちにも出会ってきました。かけがえない一人ひとりの子どもたちの笑顔と未来をなんとしても守りたい。

「身の丈に合わせて生きる」と格差も貧困も差別も容認し助長する安倍政権をこれ以上続けさせるわけにはいきません。あなたとともに新しい政治への転換を、野党連合政権の実現を。中国地方から日本共産党躍進と議席奪還必ず。今年もよろしくお祈りします。

日本共産党

前衆議院議員 (比例中国)

# 大平 喜信のぶ



おおひら・よしのぶ 【略歴】1978年広島市出身。広島市立舟入高等学校卒、広島大学学校教育学部卒。日本民主青年同盟広島県委員長など歴任。2014年12月の総選挙で初当選。衆議院議員1期(文部科学委員、災害対策特別委員、憲法審査会委員)、議席奪還を期す。現在、党准中央委員。府中町在住。家族は妻と一男。

## 総選挙へダツシユ 元日から街頭で訴え

日本共産党の大平よし のぶ前衆議院議員(衆院比例中国ブロック予定候補)は元日から街頭宣伝し、「今年解散総選挙が必至。安倍暴走政治を終わらせ、野党連合政権で新しい希望ある政治を切り拓こう」と訴えています。

元日は、春に市議選がたたかわれる福山市で、予定候補とともに宣伝。3日には、広島市議団と広島市の繁華街で訴えました。

大平氏は「政治とは一人ひとりの抱負や願いを後押ししていくためにある」と強調。「国民とともに国民のために一生懸命働く政治。それが日本共産党だということをみなさんに示しつつ、先頭に立って頑張り抜く」と決意表明。「平和も暮らしも脅かす安倍政権を終わりにして、すべての人たち誰もが自分らしく輝き、多様性を認め合える、そんな新しい希望ある政治に切り替える年にしよう」と呼びかけました。



広島市議団と新春宣伝

日本共産党を強く大きく



第28回党大会に参加しています。

西日本豪雨から1年半

### 生活再建へ

### 被災地を調査

西日本豪雨災害から1年半が過ぎようとしているなか、大平よし のぶ前衆議院議員は「被災者の生活再建を急げ」と、被災地調査に取り組んでいます。昨年末には呉市を訪問、今年に入って、坂町、三原市で被災者から聞き取りをおこないました。